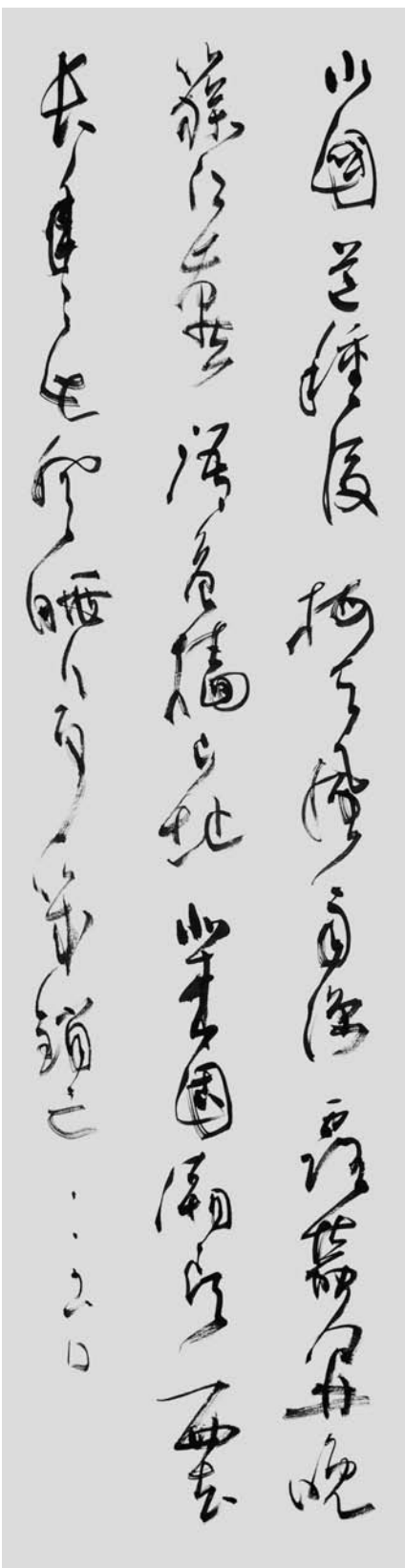


12月15日正午必着

明石春浦先生書



水國芒種後
山址北來固

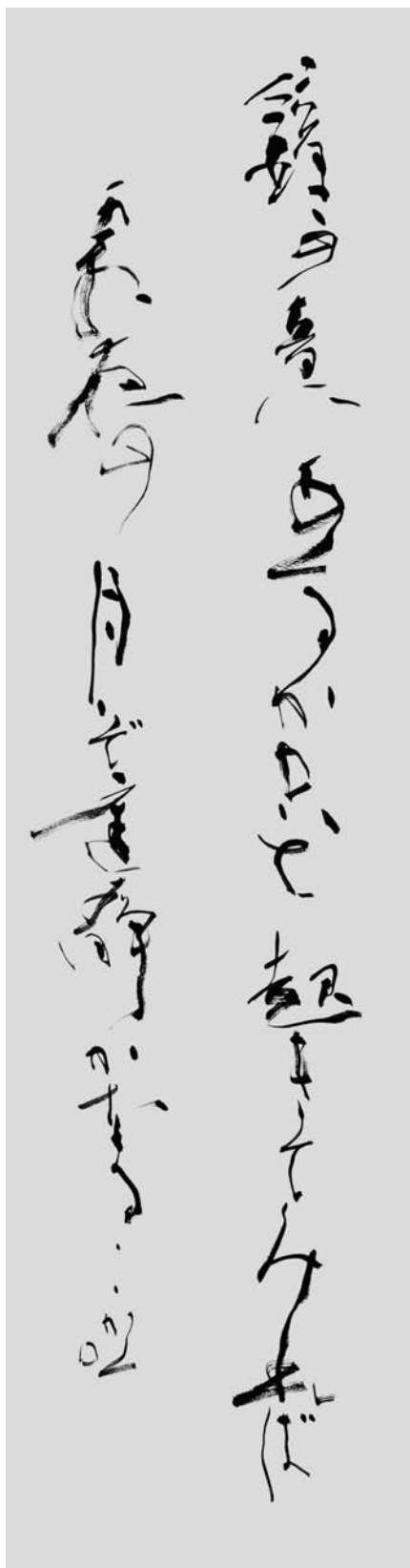
梅天風雨涼
潮頭西去長

露蠶開二晚簇一
年年此登眺

江燕語二危檣一
人事幾銷亡

(寶常)

明石幸子書



鐘の音にあくるか空と 起きてみれば 霜夜の月ぞ 庭靜かなる (後伏見院)



扁舟暮歸去。別路江南樹。愁指楚山遙。明朝望君處。(高青邱)

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

筆翰如流 (晉書)

筆翰流るるが如し

筆をはせ文章をなすにとごおることなきをいう。

古樹夕陽盡 空江暮靄收
寂寞扣舷坐 獨生千里愁 (權德輿)

古樹夕陽盡き 空江暮靄收まる
寂寞として 舷を扣いて坐すれば 独り生
ず千里の愁い

日がとつぷりと暮れて、水面にたちこめていた夕も
やもいつしか消える。ひとりふなばたをたたいてい
ると、人知れず郷愁がわいて来る。

下方 (司空図)

下方 司空図

三十年來往 中間京洛塵
倦行今白首 歸臥已清晨
坡暖冬生笋 松涼夏健人
更慚徵詔起 避世迹非眞

三十年來往す 中間京洛の塵
行に倦みて今白首 歸臥して已に清晨
坡は暖かくして冬も 筍を生じ 松は涼しくして夏人を健かにす
更に慚ず徵詔せられて起つを 世を避くるも迹眞に非ず

町中の火の見やぐらに人ひとり火を見て立てり 冬の夜の月 (落合直文)

半紙部規定課題A

12月15日正午必着

冠帯 年華初

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

12月15日正午必着

行書



隸書



明石春浦先生書

草書



行草書



細やかな春の草が、川岸に緑に茂るとき この若者はけなげにも旅に出る
 やっと元服して冠帯をつけたばかりのわかかわかしさだが その文章の輝かしさは遠く父祖の業を受けつぐ
 野中の渡し場に、花は妍を競って咲き 春の堤に水は乱れつつ流れる
 太守の甥の君を可愛がってくれるだろうが 母堂が心配して待っているのを忘れてはいけない

送王牧往吉州 李嘉祐

謁史君叔上

細草綠汀洲

王孫耐薄游

年華初冠帶

文彩舊弓裘

野渡花爭發

春塘水亂流

史君憐小阮

應念倚門愁

王牧が吉州に往いて

史君叔に謁するを送る

李嘉祐

細草 汀洲に緑に

王孫 耐く薄遊す

年華 初めて冠帯し

文彩 旧と弓裘し

野渡 花争って発き

春塘 水乱れつつ流る

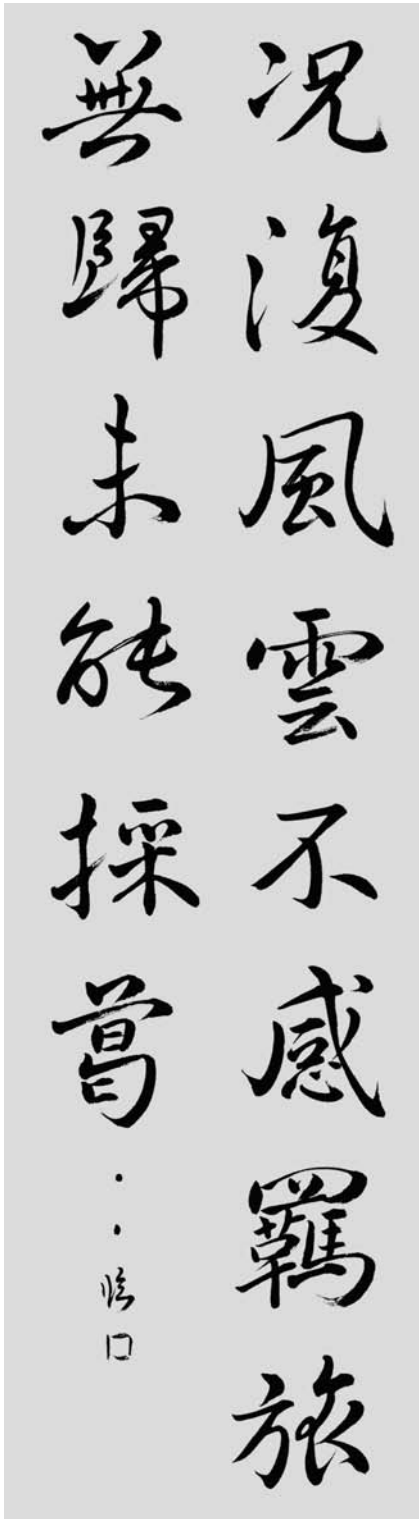
史君 小阮を憐れむも

応に倚門の愁いを念うべし

本垂淚。傷根流血。火入空心。膏流斷節。橫洞口而歛臥。頓出要而半折。
 文衰者全體俱碎。理正者中心直裂。戴癭銜瘤。藏穿抱穴。
 木魅賜睽。山精妖孽。况復風雲不感。羈旅無歸。未能採葛。還成食薇。
 沈淪窮巷。無沒荆扉。既傷搖落。彌嗟變衰。淮
 本(を抜かれて) 涙を垂れ、根を痛めて血を流す。火は空心に入り、膏は断節に流る。洞口に横たわりて歛に臥し、山腰に頓れて半折す。
 文の斜めなるは 合体 俱に碎け、理の正しきは中心より直裂す。癭を戴き瘤を銜み、穿を藏し穴を抱く。木魅は賜睽し、山精は妖孽す。
 況んや復た 風雲 感ぜず、羈旅 帰る無きをや。未だ葛を採る能わず、還つて薇を食らう成す。窮巷に沈淪し、荆扉に無没し、既に揺落
 を傷み、弥いよ変衰を嗟く。淮：

本垂淚。傷根流血。火入空心。膏流斷節。橫洞口而歛臥。頓出要而半折。
 文衰者全體俱碎。理正者中心直裂。戴癭銜瘤。藏穿抱穴。
 木魅賜睽。山精妖孽。况復風雲不感。羈旅無歸。未能採葛。還成食薇。
 沈淪窮巷。無沒荆扉。既傷搖落。彌嗟變衰。淮
 本(を抜かれて) 涙を垂れ、根を痛めて血を流す。火は空心に入り、膏は断節に流る。洞口に横たわりて歛に臥し、山腰に頓れて半折す。
 文の斜めなるは 合体 俱に碎け、理の正しきは中心より直裂す。癭を戴き瘤を銜み、穿を藏し穴を抱く。木魅は賜睽し、山精は妖孽す。
 況んや復た 風雲 感ぜず、羈旅 帰る無きをや。未だ葛を採る能わず、還つて薇を食らう成す。窮巷に沈淪し、荆扉に無没し、既に揺落
 を傷み、弥いよ変衰を嗟く。淮：

12月15日正午必着



況んや復た 風雲 感せず、羈旅 歸る無きをや。未だ葛を採る能わず、



理の正しきは中心より直（裂す。）

初唐 褚遂良・枯樹賦

褚遂良は隋の開皇十六年（五九六）杭州錢塘の生まれで、字は登善。父の褚亮は唐の太宗に仕え、秦府十八学士の一人として活躍した人物で、遂良はその次子。父の同僚であった歐陽詢・虞世南とともに初唐の三大家として並び称されているが、二人とは約四十歳ほどの差があり、師と仰ぐ虞世南の後継者として父と同じく太宗に重用された。

褚遂良の人柄は、品行方正にして硬骨。高宗の代になり、尚書右僕射にまでのぼりつめたが、その性格がゆえに則天武后を皇后にしようとした高宗を諫めたことよって左遷され、晩年は愛州（現在のベトナム）に遷され、唐の顯慶三年（六五八）にこの地で没した。六十三歳。

枯樹賦は北周の庾信の撰によるものを褚遂良が書いたものと伝えられている。彼の書は虞世南に学び、歐陽詢に影響を受け、王羲之に傾倒しつつ、やがて独自の書風へと昇華させていったと言われるが、この枯樹賦に見られる筆法の流麗さや点画・偏旁・収筆の変化は、実に細かく意匠を凝らした経意の書と言われている。（春濤）

※経意の書↓卒意の書

12月15日正午必着

教育部毛筆



ふゆ しょう ぐん
冬 将 軍

中学一年

雨宮春聲先生書



せい たん さい
聖 誕 祭

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



どく
独

しょう
唱

小学五年

藤井良泰先生書



すみ
炭

やき
焼

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

12月15日正午必着



こう

じょう

小学三年

細谷春誠先生書



じ

てん

小学四年

榎戸春龍先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



う た 小学一年・幼年

明石幸子書



^{あか}赤 い 小学二年

藤田幸春先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

精がまいおりて来た
しずかな山里に雪の

小学五年

降りしきる雪の中にす
ずの音が消えて行く

小学六年

生涯かわらぬ友情を
育てることが大切です

中学

おごそかな鐘の音と
聖夜を祝う星の輝き

一般(級位)

滝の音は絶えて久しくなりぬれど
名こそ流れてなほ聞こえけれ
ほろろと流れてなほ聞こえけれ

一般(段位)

たき
たき
たき
滝の音は絶えて久しくなりぬれど
な
な
な
名こそ流れてなほ聞こえけれ
た
た
た
大納言公任

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

る	き
	よ
ク	し
リ	
ス	こ
マ	の
ス	よ

幼年

き	み
れ	ん
い	な
な	で
ツ	作
り	っ
ー	た

小学一年

音	じ
が	よ
な	夜
り	の
ひ	か
び	ね
く	の

小学二年

い	歌
ク	を
リ	う
ス	た
マ	い
ス	楽
会	し

小学三年

白	赤
い	い
ひ	鼻
げ	の
の	ト
サン	ナ
タ	カ
	イ
	と

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

十二月は決む

かきつばたの

あはれな

はな



岩本景楓先生書

十二月には沫雪ふると知らねかも梅の花さくふふめらずして
しはす 尔 布登 農 免
(万葉集・紀少鹿女郎)